

パフォーマンスレベルについて

- 1) 学科・専攻の DP に基づいた学士力（コンピテンスの領域、コンピテンシー）作成
- 2) 科目ごと、コンピテンシー（7 領域 32 項目）ごとのパフォーマンスレベル決定
- 3) 科目ごとの評価方法を提示

* 一般教養科目と保健医療基礎科目は全学科・専攻共通として共通教育担当

レベル(達成度)	Applied		Basic			
パフォーマンスレベル	A	B	C	D	E	F
	(Does)	(Show how)	(Knows how; Experiences)	(Knows)		
	臨地の場で監督・指導のもと、対象者に対して実施できることが単位認定の要件である	技能を習得し、模擬的に実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能や知識を修得し、体験的に実施できること、あるいは現場で応用する知識を習得することが単位認定の条件である	基盤となる知識の習得が単位認定の要件である	経験する機会があるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない

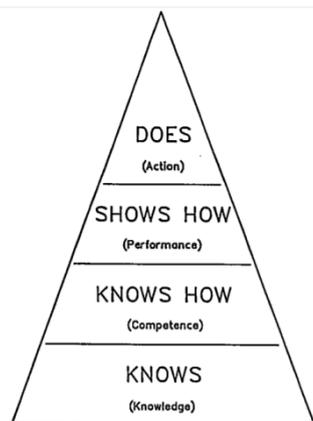


Figure 1. Framework for clinical assessment.

- A. 臨地実習
指導者・監督者のもと
- B. 模擬的に実施できる
シミュレーター
- C. 臨地の現場で応用する知識、または態度、技能、知識の体験 Experience(=Know How + Knows) (実習講義・体験ゼミなど)
- D. 講義、保健医療の知識、医学的基礎知識

MILLER GE. The assessment of clinical skills/competence/performance. Acad Med. 1990;65(9 suppl):s63-s67.